

女川原子力発電所2号機 第8回定期検査 主要機器点検情報(平成18年12月)

| 設備名 | 設備区分 | 実施内容 | 検査区分 | 概要 |
|----------------------------|------|------|------|---|
| (原子炉冷却系統設備) 起動用真空ポンプ | | | | <ul style="list-style-type: none"> 平成18年12月5日(火)復水器の空気を排出するため、起動用真空ポンプを起動したところ、起動用真空ポンプ下流にある気水分離器のベントライン開放部より水が漏れたことを当社運転員が確認しました。 本事象による外部への放射性物質の放出はありませんでした。 <p>(詳細については、個別情報No.1参照)</p> |
| (計測制御系統設備) 局部出力領域モニタ検出器 | | | | <ul style="list-style-type: none"> 当社運転員が、最大線出力密度の値が一時的に上昇していることを発見しました(12月19日)。 原子炉内の中性子の量を計測している局部出力領域モニタ検出器の校正作業を行ったところ、124個ある検出器のうち2個について、校正用検出器の値と差が生じていることを確認しました(12月20日)。 念のため、当該検出器の信号を切り離しました(12月21日)。 原因については、今後、詳細調査を行う予定です。 <p>(詳細については、個別情報No.2参照)</p> |

【設備区分】 : 安全上重要な系統(原子炉圧力バウンダリ、原子炉本体、非常用炉心冷却系等)
: それ以外の系統

【検査区分】 定: 法令に基づき国または独立行政法人 原子力安全基盤機構が実施する定期検査
事: 法令に基づき当社が実施する定期事業者検査
点: 保守管理に基づく点検・補修等

女川原子力発電所 定期検査・主要機器点検情報

No. 1

(平成18年12月分)

| | | | |
|------------------------|---|-------------|--|
| 号機 | 2号機 | 定期検査 | 第8回定期検査 |
| 件名 | 起動用真空ポンプ気水分離器ベントラインからの水漏れについて | | |
| 月日 | 平成18年12月5日(火) | 発生 | 発見 確認 |
| 場所 | タービン建屋 | 設備 | 起動用真空ポンプ 設備区分 それ以外の系統 |
| 設備概要 | 起動用真空ポンプは復水器空気抽出系の一部であり、プラント起動時に復水器内の空気を排出し、復水器を真空にする目的で設置されております。 | | |
| 所見 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 復水器の空気を排出するため、起動用真空ポンプを起動したところ、ポンプ下流にある気水分離器のベントライン開放部より水が漏れたことを当社運転員が発見しました(12月5日)。 ・ 水はタービン建屋内にある当該ベントライン開放部下部に、約1.5m×4.0mの範囲に広がっていました。 ・ 原因は、過渡的な圧力変動および水位上昇によりポンプ下流の気水分離器のベントライン開放部より水が漏れたものと推定されます。 ・ なお、本事象による外部への放射性物質の放出はありませんでした。 | | |
| | | | |
| 起動用真空ポンプ気水分離器ベントライン系統図 | | | |

女川原子力発電所 定期検査・主要機器点検情報

No. 2

(平成18年12月分)

| | | | |
|------|---|------|------------------|
| 号機 | 2号機 | 定期検査 | 第8回定期検査 |
| 件名 | 局部出力領域モニタ検出器の値と校正用検出器の値との差の発生について | | |
| 月日 | 平成18年12月20日(水) | 発生 | 発見 確認 |
| 場所 | 原子炉建屋 | 設備 | 局部出力領域 モニタ検出器 |
| | | 設備区分 | 安全上重要な 系統 |
| 設備概要 | 局部出力領域モニタ検出器とは、原子炉内で核分裂によって発生する中性子の量を計測する検出器です。原子炉内に31本設置されており、それぞれ4個の検出器が取り付けられています(合計124個)。 | | |
| 所見 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 当社運転員が、最大線出力密度 の値が一時的に上昇していることを発見しました(12月19日)。 ・ 原子炉内の中性子の量を計測している局部出力領域モニタ検出器の校正作業を行ったところ、124個ある検出器のうち2個について、校正用検出器の値と差が生じていることを確認しました(12月20日)。 ・ 念のため、当該検出器の信号を切り離しました(12月21日)。 ・ 原因については、今後、詳細調査を行う予定です。 <p>(平成19年1月5日お知らせ済み)</p> <p>最大線出力密度とは、原子炉内の燃料棒単位長さあたりの出力のうち最大のものをいう。</p> | | |

